空の安全を守る燃焼試験

航空機用燃焼試験における試験データの習得と信頼性向上

アピールポイント

- ✓ FAR燃焼試験に対する豊富な知見
- ☑ 試験精度向上に向けた外部機関との連携



内装品一例*(表示板)

技術の特徴

- ・企業と連携した様々な航空機内装品向け の垂直燃焼試験による試験結果の蓄積・ データ拡充
- 他試験機関と連携して、燃焼試験結果に 及ぼす試験条件(試験環境、試験装置 等)の影響等の調査、技能向上

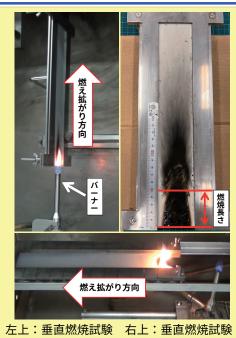
企業へのご提案

FAR燃焼試験にご興味をお持ちの方、航空機に搭載される内装品の試験を行いたい方、都産技研では、英文の試験報告書の発行、航空局立ち合い試験の実績もございますので、お気軽にご相談ください。



JQA-AS0233 航空機規格対応試験

技術の概要



● FAR (米国連邦航空規則)で定められた航空機内装品向けの燃焼試験を実施可能。法改正や異なる材料を組み合わせた内装品に対応するためデータの取得を行っています。

国内の試験場と連携 ☞ し、<u>試験精度向上</u>に向けた比較試験を共同で実施。





水平燃焼試験における 試験結果比較の一例

S-BIRD

結果の一例下:水平燃焼試験

【関連資料】

H. Kinoshita et al., 10th Triennial International Aircraft Fire and Cabin Safety Research Conference (2022).

共同研究機関 山王テクノアーツ株式会社*、公益財団法人南信州・飯田産業センター

物理応用技術部 機械技術グループ

中澤 誠人